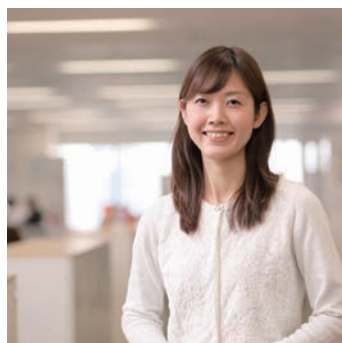




Life Care & Produce

KANAE

CSR 報告書

2017

トップメッセージ

変化に負けないチャレンジを

世の中の流れは激しく、当社を取り巻く事業環境もドラスティックに変化し続けています。社会にその存在価値を認められない企業は、退場を余儀なくされます。当社は、今後も「包装事業」で、社会から必要とされ、価値を提供し続ける企業となるべく邁進してまいります。

当社は2018年度大きな『変革』に向けてスタートを切りました。過去を振り返り、過去から学ぶことは大切であり、決して忘れることができるものではありませんが、これからの未来に向けてチャレンジし続けます。

CSR方針・CSR指針の策定

全社レベルでCSR活動に取り組むために、会社としてのCSR方針・CSR指針を策定いたしました。今後は、当社のCSR方針・CSR指針のもと、活動のベクトルをあわせ、より効果的に、また統一感をもった様々な取り組みを進めてまいります。

当社のコア技術は「包む」技術です。このコア技術を磨きあげ、今より数段レベルを上げていかなければ企業の社会的責任を果たしていくことはできません。そのためには人財の育成が急務です。2018年度より、包装技術開発研究所を改組し、包装技術開発センターといたしました。包装技術開発センターの中に、開発・研究機能（包装技術開発部）と技術人財を育成する

部門（技術人財開発部）を設置いたしました。「包む」技術で、未だ世の中にはない新たな価値を創造し提供することで、本業を通じたCSR活動を実践してまいります。

CSR方針・CSR指針は、お客様・お取引先様・社員・地域社会・行政など当社に関わるすべてのステークホルダー（利害関係者）へのお約束であるとともに、当社で働く全従業員が理解し、実践しなければならないメッセージでもあります。何かお気づきの点などございましたら、遠慮なくご指導・ご指摘賜りますようお願い申し上げます。

2020年のビジョン

「新しいパッケージで市場創造型企業No.1」に込めた想い

2020年のビジョンは、2010年に策定した当社の10年後の目指す姿です。2020年のビジョンの解説として、従業員に配布している冊子の中に以下のように明文化しています。

“

「お客様」「消費者・使用者」で顕在化している課題、潜在的な不都合、「お客様の变化」「世の中の変化」を機敏かつ適確に捉え、カナエの包材・加工・機械・システム・技術のトータルサポート力で、高付加価値の「新しいパッケージ」を開発、その提供を通して今までになかった利便性を他社に先んじて世の中に提供しつづけることにより、包装における「市場創造型企業」と言えば、「カナエ」と真っ先に思い出しただけになる、ということです。

”

単にお客様から求められるものを提供するのではなく、当社自らが市場を創る「包装（パッケージ）」を開発・提供してまいります。新しいパッケージが今までになかった利便性を持ち、社会に受け入れられることを通して、企業の社会的責任を果たすことにつなげます。新しい「包装（パッケージ）」を創り続けることにより、お客様や世の中に必要とされる企業となることで、様々なお困りごとの情報が自然と当社に集まってくるようになります。さらにアイデアを膨らませ、より一層価値ある「包装（パッケージ）」を創り続けることができるようになって考えています。

当社はこれからも、世の中が抱えている様々な課題に対し、「包装」を通じて課題解決に挑み続けることで、社会から信頼される企業となるよう努めてまいります。

本報告書が皆様の当社をより知っていただく一助となれば幸いです。

お客様の パッケージへの 「想い」を カタチに

株式会社カナエ
代表取締役社長
田中 勝人

企業理念・社訓

私たちが企業活動を行う上で大切な価値観を明確にしたものが企業理念・社訓です。

当社を取り巻く環境が変化していく中でも、見失うことのない価値観を共有するものであり、当社が「企業の社会的責任(CSR)」を果たしていくための全ての要素が含まれています。

企業理念

- 社員の人生の充実を重んじ、希望と誇りと働き甲斐のある企業にする
- 顧客第一主義に徹する
- 健康と豊かな生活を創造し、社会に貢献する
- 情報と知恵を活かし、顧客満足を創造する
- 地球環境にやさしい企業活動を行う
- 企業の社会的責任を果たしていく

社訓

- ニュー・ニューフロンティア精神を持つ
- 見るよりも見られることに徹しよう
- 実るほど頭をたれる稲穂かな
- 独創性を追求しよう

社名について

社名であるカナエは漢字で「鼎」と書きます。

「鼎」は中国の食物を煮る金属製の器のことで、この器が三本の足に支えられて役目を果たしていることに共通点を求め、三位一体の和を強調しています。

三位とは、人・物・金を意味し、協力・努力・忍耐力の3つの力を総合したものであります。3つの力が均衡を保ちバランスを崩さず発展するように「カナエ」と社名がつけられました。



企業理念・社訓の浸透

当社では、企業理念の浸透は永遠のテーマとして取り組むべきものであると考えています。社員一人ひとりが、当社がどのような会社なのか、社員に何を求めているのかなどを企業理念、社訓を通して色々な面から理解でき

ることを目的に、理念手帳「鼎心(ていしん)」を作成しました。

鼎心は私たちが日々の業務で悩んだ際、先人たちの知恵として私たちが正しい方向へ導く大きなヒントとなっています。



会社概要

「包む」ことへのあらゆる課題を、お客様とともに解決するのが私たちカナエです。パッケージはいま、ただ商品を守るだけでなく、新たな付加価値を生み出す存在へと進化しつつあります。その中で私たちが目指す姿は、パッケージの“次の形”を世に問う“市場創造型企業”。お客様のパッケージへの「想い」をカタチにするため、日々挑戦を続けています。

カナエの事業領域

包装材料の販売： 素材メーカー500社以上とのネットワークで最適な包装材料を提案

包装機械の販売： 使う立場に立った包装システムを提案

包装加工： 多種多様な包装を、試作から受託製造まで対応

社 名： 株式会社カナエ

本社所在地： 大阪市中央区城見1-2-27クリスタルタワー23階

創 立： 1956年3月29日

資 本 金： 3億5,381万4,600円

代 表 者： 代表取締役社長 田中 勝人

売 上 高： 25,159百万円(2017年10月期)

従 業 員 数： 449名(2017年10月21日時点)

事 業 所： 本社、東京支店、名古屋営業所、富山営業所、
流通センター、栃木工場、神戸工場、愛媛第一工場、
包装技術開発センター(2017.10.21改組)

グループ会社： カナエエンジニアリング株式会社
株式会社カナエテクノス
株式会社カナエシーエスパック

業 態 許 可

- 本社
 - 第2種医薬品製造販売業
 - 医療機器製造業登録(設計管理)
- 東京支店
 - 管理医療機器等販売業
- 栃木工場
 - 医薬品製造業(一般)
 - 向精神薬製造製剤業者免許
 - 向精神薬試験研究施設設置者登録

- 神戸工場
 - 医薬品製造業(一般)
 - 医薬部外品製造業(一般)
 - 化粧品製造業(一般)
 - 向精神薬製造製剤業者免許
 - 向精神薬試験研究施設設置者登録
 - 飼料添加物製造業者届
- 愛媛第一工場
 - 医薬品製造業(一般、包装・表示・保管)
 - 医療機器製造業登録
 - 医薬部外品製造業(一般)
 - 化粧品製造業(一般)
 - 管理医療機器等販売業

認 証 取 得

ISO14001
環境マネジメントシステム2015年版



神戸工場・包装技術開発センター(平成20年竣工)

Contents

トップメッセージ 1 - 2

企業理念・社訓
会社概要 3 - 4

特集1
【環境・社会活動】から
【CSR活動】へ 5 - 6

特集2
パッケージを通じた
社会貢献 7 - 8

CSR中期目標と
2017年度の実績 9 - 10

当社の取り組み

社員が家族に誇れる
職場づくり 1 1

安全衛生、
ワークライフバランス 1 2

安全安心とパッケージに
よる課題解決 1 3

コンプライアンス、
公正な商取引 1 4

組織統治(内部統制) 1 5

環境方針の実践 1 6 - 1 7

地域社会への貢献 1 8

編集方針

株式会社カナエ発行の「CSR報告書2017」は2017年度の主なCSR活動について、取りまとめたものです。

当社の企業理念・社訓を始め、CSRに対する姿勢、具体的な取り組みなどを掲載しています。また、巻末にはアンケートを挿入しています。今後の当社のCSR活動あるいはCSR報告書の改善に繋がる内容となっておりますので、是非忌憚のない皆様方のお声をお聞かせください。ご協力をお願いいたします。

報告対象範囲
株式会社カナエ

報告対象期間
事業年度62期(2017年度)
2016年10月21日～2017年10月20日
(一部報告対象期間外の情報も掲載しています。)

発行
2018年2月

特集1 【環境・社会活動】から【CSR活動】へ

当社では、これまで環境・社会活動を中心とした取組みを、【環境・社会報告書】としてステークホルダーの皆様へ毎年ご報告してまいりました。

当社の取組みは環境負荷低減活動だけに留まらず、パッケージによるお客様（消費者）のお困りごとの解決や、ハラスメントの防止、緊急時の事業継続計画（BCP）の策定、地域支援活動など、様々な取組みを企業の社会的責任として展開しています。これらの取組みが当社の企業理念、社訓、経営基本方針に沿ったものであることをより明確にし、それぞれの取組みをより深化させることを目的に、2016年度にISO26000に基づく

【CSR方針】と【CSR指針】を策定しました。そして2017年度から、体系化されたCSR活動を展開しています。

CSR方針とCSR指針は、当社のブランドイメージに繋がる【包（つつむ）】をキーワードとしており、本業を通じたCSR活動となるよう、社員一人ひとりが主体的に取り組むことを目指しています。これまで【環境・社会報告書】ではご紹介しきれなかった当社の取組みを【CSR報告書】としてお伝えさせていただき、当社をこれまで以上にご理解いただくことにより、当社が進める「安全安心」をより身近に感じていただければ幸いです。

CSR方針

「^{つつむ}包」で安全安心を創造し続けます。

CSR指針



社員の生活を包む

社員が家族に誇れる
職場づくり

あらゆるハラスメントを排除するとともに、誰もが働きやすい環境づくりと、教育体制構築を推進します。



職場を包む

安全衛生、
ワークライフバランス

社員だけでなく、家族も安心できる職場風土の醸成に努めます。



お客様と消費者を包む

安全安心とパッケージによる課題解決

安全・安心と使いやすいパッケージを追求します。



ビジネスを包む

コンプライアンス、
公正な商取引

高い倫理観を持ち、社会から必要とされる人財を育てられる企業を目指します。



会社を包む

組織統治（内部統制）

内部統制を強化するとともに、いかなる状態でも事業継続ができる体制構築を推進します。



地球を包む

環境方針の実践

ひとや環境にやさしい企業活動を実践します。



社会を包む

地域社会への貢献

社会と共に成長し、誰もが喜びと感動を感じていたける企業を目指します。

CSR方針の位置づけ

CSR方針は企業理念・社訓、経営基本方針を基に考えられており、当社が事業活動を行う上での考え方の基礎となります。2017年度が1年目であり、まだまだ社内浸透が必要な状況ではありますが、CSR方針の実践が企業理念の体現につながることを、社員一人ひとりが実感できる環境をつくってまいります。

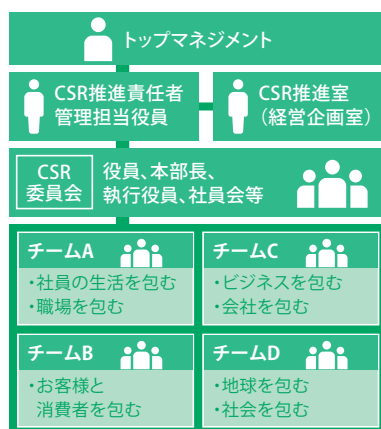


CSR推進体制

当社では、CSR推進組織を構成しています。

CSR推進組織は社長をトップマネジメントとし、トップの意思をCSR活動に反映させる仕組みをとっています。また、社員会メンバーが参画することにより、社員の声も反映できるような体制としています。各活動については4つのチームを構成し、CSR指針のそれぞれをテーマとして、関連性が高い部門、会議体等をメンバーとしています。

CSR推進組織図



CSR推進担当者の声



経営企画室
大森 寛之

CSR方針の策定は、当社が以前から取り組んできたCSR活動を改めて体系化するという事で、当社の取り組みを一から洗い出すことから始めました。

CSR方針、CSR指針策定の作業は長期間に及び、なかなか【これ!】といったものに決まらなかったのですが、当時の会長から「カナエのブランドイメージにつながるCSR方針にするように」との指示をいただき、それがヒントとなりました。

CSRの社内浸透や活動内容には改善すべき点がたくさんありますが、これからも社員一人ひとりが主役になれるCSR活動を推進してまいります。

CSR中期計画

当社のCSR活動は本業に取り組むことにより企業の社会的責任を果たすことを目指しており、第7次中期経営計画の

内容とステークホルダーからの要求事項に沿い、2020年度をゴールとしたCSR中期計画を策定しています。

CSR指針	CSR中期目標
社員の生活を包む 社員が家族に誇れる職場づくり	- 社内からハラスメント(セクハラ、パワハラ)が撲滅されている。 - 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき係長級の役職者に占める女性割合を2019年3月31日までに30%以上とする。 - ダイバーシティで全社の力を活かす。
職場を包む 安全衛生、ワークライフバランス	- 全社業務災害(休業災害)ゼロ1,000日を達成する体制ができています。 - EHSマネジメントシステムの統合運用ができています。 - 健康診断結果のC判定以上の者を61期比半減させる。
お客様と消費者を包む 安全安心とパッケージによる課題解決	- 品質向上による不良品削減。 - お客様のCSRに繋がる新しいパッケージを開発し、継続品としての実績を作る。(5商材)
ビジネスを包む コンプライアンス、公正な商取引	- 調達基本方針が周知、遵守されている。 - コンプライアンス教育が最低年1回行われている。
会社を包む 組織統治(内部統制)	- BCMSの推進。 - 事業運営リスクの低減。
地球を包む 環境方針の実践	- 業務効率化により温室効果ガス・資源・廃棄物・コストの削減になっている。 - 環境負荷低減製品の新規採用件数16件以上。(自社オリジナル開発製品及び共同開発製品) - 全商品の売り上げに占める環境負荷低減製品の割合が7%以上になっている。(包材のみ) - eco検定合格者年間10名以上。 - 内部監査員、部門長経験者を30%以上にする。
社会を包む 地域社会への貢献	- CSR報告書を発行し、ステークホルダーに説明できている。 - 生物多様性に配慮した活動の推進ができています。 - カナエの森をより活用した周辺地域への貢献ができています。

特集2 パッケージを通じた社会貢献

付加価値の高いパッケージ開発への取り組み（2017日本パッケージングコンテスト受賞）

公益社団法人 日本包装技術協会が主催する「2017日本パッケージングコンテスト」において、武田薬品工業株式会社様、相互印刷株式会社様と共同開発した、『多発性骨髄腫治療薬 ニンラーロ[®]カプセル 2.3mg・3mg・4mg』のパッケージが【アクセシブルデザイン包装賞】を受賞いたしました。本パッケージは「アドヒアランス」、「ユニバーサルデザイン」、「環境配慮」の3つの観点から設計したパッケージとなります。



複雑な服薬スケジュールを遵守いただくため、服薬予定日を記載する欄を印刷すると共に、薬剤をアルミシートから取り出す際に、薬が飛び出し落下しないよう受け皿を設けています。またアルミシートは服薬後取り外して管理でき、最終的にアルミと紙に分別して廃棄することができます。

またこのパッケージは、世界包装機構（WPO）主催のワールドスターコンテストにて「ワールドスター2018」、アジア包装連盟（APF）主催のアジアスターコンテストにて「アジアスター2017」も受賞し、国内外から高い評価をいただきました。



ICTを活用した服薬管理システム

当社はICTと包装材料を組み合わせた服薬管理システム「MEDLLECT（メドレクト）」の実用化を目指し、開発に取り組んでいます。

MEDLLECTはアルミ箔側に電子回路を備えたPTPと専用のタグで構成される包装体で、クラウド上で患者様情報・服薬履歴を管理するアプリケーションと連動する仕組みとなっています。薬剤の取り出し時にアルミ箔側の電子回路が断線された時刻が服薬時刻としてクラウドに記録されるため、クラウド上で患者様の服薬履歴を管理することができます。

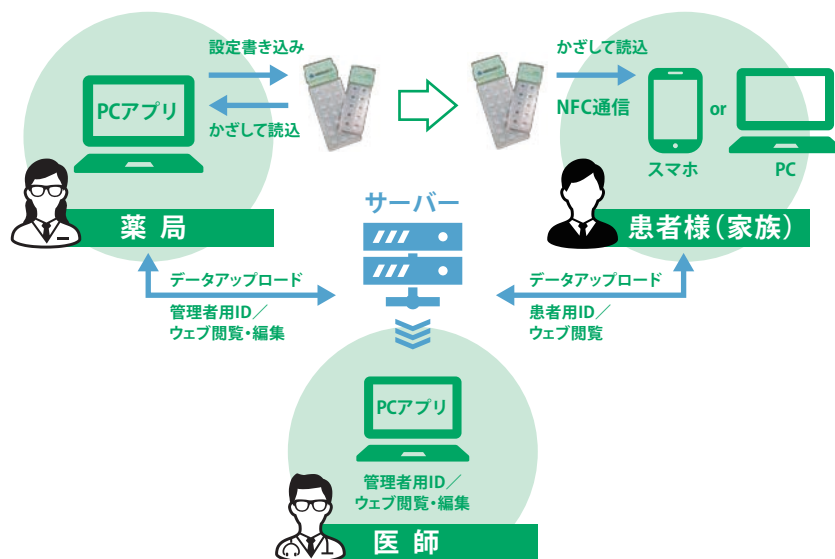
ICTとは…Information and Communication Technologyの略

具体的にはアプリケーション対応のスマートフォンやICカードリーダーを装着したパソコンなどを用いてデータを読み取ることでクラウド上の服薬履歴管理システムにアップロードでき、患者様（または家族）がアクセスして飲み忘れなどを確認できるため、医師や薬剤師が患者様の服薬状況や服薬パターンなどを把握し、服薬指導に役立てることが可能となります。

これまでの課題であったサイズについても小型化による使用性の向上を実現し、現在、医薬品メーカー・大学にご協力いただきながら、実証試験を行っています。



MEDLLECT



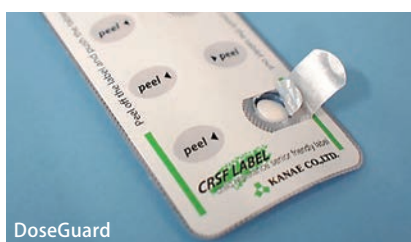
＜安全性と環境に配慮したパッケージの開発と提案＞

子供の医薬品誤飲防止に向けた取り組み

2016年7月の厚生労働省からの包装容器による子供の誤飲事故防止策の検討についての通知を受け、2017年11月に日本製薬団体連合会から検討報告が発表されました。この検討報告の中ではチャイルドレジスタンス（CR）包装の標準設計の規格化についてはさらなる検討が必要とされ、現時点では必要に応じて各医薬品メーカー個々の対応を図るのが適当としています。しかし、服薬の安全性をさらに高めるため、CR包装の導入検討は今後も行われる可能性があります。

当社は様々なCR包装を海外からの導入品も含め取り扱っており、お客様の要望に応じた設計・提案を行っています。CR包装の一例としてラベルをめくってからでないと薬剤を取り出せないPTP（画像の左：DoseGuard）や、錠剤を押し出すのに強い力が必要となるため子供では押し出せないPTP（画像の中央：ハードブッシュ蓋材）また紙器のボタンを押ししながらでないとPTPを引き出すことができない紙器とPTPが一つになった包装（画像の右：DosePak®）などがあります。

PTPとは…Press Through Packageの略



DoseGuard



ハードブッシュ蓋材



DosePak®

PTP生産ライン効率化のための改善提案

医薬品の取り違え事故の防止やトレーサビリティの観点から医療用医薬品のバーコード表示が必須化されています。調剤包装単位となるPTPには狭い面積でも印刷可能なGS1データバーが施されますが、読み取り性能を高めるため、アルミ箔に白色のベタを印刷、その上にGS1データバー、さらに保護コート剤が印刷・塗布されます。一方で白ベタをアルミ箔に印刷すると熱伝導率が低下するため、包装工程におけるシール性が悪くなり、シール不良によるロス率の増加や生産速度の低下が起きます。

当社はPTP用アルミ箔『SWコート+低温シールコート』を

PTP生産ライン効率化のため、医薬品メーカー様にご提案しています。「SWコート」は白ベタを印刷しなくてもGS1データバーを読み取ることで性能をアルミ箔に付加する保護コート剤です。白ベタを印刷しなくても済む分、シール時における熱伝導率の低下を抑制します。また「低温シールコート剤」は現行よりも低い温度で熱シールできるシールコート剤となります。これらを組み合わせることで現行より低温域でのシールが可能となり、生産ラインの効率化、しいては不良品排出抑制による環境負荷低減に貢献します。



現行の白ベタ

SWコート

水沈/バキューム試験による高速PTP包装機での各シール温度におけるシール性測定結果※

検体	200℃	210℃	220℃	230℃	240℃
白ベタ+現行VC	シール不可	導通	導通	導通	導通なし
SW+現行VC	シール不可	導通	導通	導通なし	導通なし
白ベタ+低温VC	導通	導通	導通なし	導通なし	導通なし
SW+低温VC	導通	導通なし	導通なし	導通なし	導通なし

※当社で検体作製・評価した際のシール性の代表例です。

【検体作製】高速PTP包装機：FBP-300E（当社 神戸工場保有）
シール温度：200～240℃/シール圧力：0.35MPa/ショット数：300spm
PTP寸法：40mm×100mm

【測定方法】水沈/バキューム試験機（当社 包装技術開発センター保有）
条件：-66.7kPa×3min+常圧5min/検体数：10
※試験後、導通がないか確認。

アウトガス吸着パッケージ

内容物によっては製造時や保管時に“アウトガス”と呼ばれる臭気を伴う低分子揮発成分を発生することがあります。密封されたパッケージ内にアウトガスが存在すると、製品寿命の低下や内容物への臭気成分転移が起こる可能性があります。

そこで、当社では特定のアウトガスを吸着する材料を添加した機能性フィルムの取り扱いをはじめました。一度フィルムに吸着

したアウトガスは再放出されないため、継続的に効果を得ることができます。また別途、消臭剤の小袋を中に入れる必要がなく、消臭剤を誤飲する事故を防止できるため、品質面のみならず使用者の安全面にも配慮されたパッケージとなっています。また、部材の点数を減らすことにより廃棄物の削減にもつながります。現在、主に医薬品分野にて採用が進んでいます。

CSR中期目標と2017年度の実績

当社はCSR方針・CSR指針に沿い、2020年度をゴールとしたCSR中期計画を策定しています。初年度となる2017年度の目標と実績は以下の通りとなりました。

目標設定や取り組み方など、改善すべき点が多々あります。引き続きCSR活動を展開する中で必要な改善に取り組み、CSR中期計画達成を目指してまいります。

CSR 指針	2020年度	2017年度			
	目標	目標	実績	評価	関連
社員が家族に誇れる職場づくり	社内からハラスメント（セクハラ、パワハラ）が撲滅されている	新任管理職へのハラスメント教育の実施	62期までにハラスメント教育をうけた者が新任管理職になっているため評価なし	-	P11
		年1回、全社的な啓発ができている	全従業員を対象としたCSR勉強会の中でハラスメントに関する教育を実施	○	
		係長級社員の全員がハラスメントに関するeラーニングを受講している	89%が期中に受講完了	×	
	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき係長級の役職者に占める女性割合を2019年3月31日までに30%以上とする	女性係長級の割合を30%に近づける	62期末:22.8%	-	
	ダイバーシティで全社の力を活かす	新たに障がい者1名を採用する	採用には至らず ※63期に採用予定	×	
		子育て関連の就業形態の素案が出来ている	●男性育児休業1名取得 ●育児休業規程を改訂し、子が2歳になるまで更に延長できるようにした	○	
安全衛生、ワークライフバランス	全社業務災害（休業災害）ゼロ1,000日を達成する体制ができている ※本社は社用車による交通事故件数	業務災害ゼロ日数が継続されている	各事業所業務災害件数 ○は期末時点での業務災害ゼロ継続日数 栃木工場:0件(337日) 神戸工場:0件(464日) 本 社:1件(64日)	×	P12
	EHSマネジメントシステムの統合運用ができている	環境マネジメントシステムからEHSマネジメントシステムにむけた準備ができている	HSのISO45001の発行が2017年4月より2018年3月以降に延期となったため未着手	×	
	健康診断結果のC判定以上の者を61期比半減させる	健康診断結果がC判定以上の者を61期比20%削減する	●61期のC判定以上の者の再集計を実施 ●CSR報告書作成時点で集計中	-	
安全安心とパッケージによる課題解決	品質向上による不良品削減	(内製関係) 各事業所における自責逸脱の発生数 61期比20%削減	栃木工場:12.7%削減 神戸工場:前年同数	×	P13
	お客様のCSRに繋がる新しいパッケージを開発し、継続品としての実績を作る(5商材)	開発品テーマ選定、開発	●包む大賞各賞受賞アイデアのサンプルを作成し、各方面へのヒアリング実施 ●取引先様との共同開発推進	○	P7 P8 P13
公正な商取引、コンプライアンス	調達基本方針が周知、遵守されている	調達基本方針の社内理解浸透	調達担当者向けの勉強会を開催	○	P14
		取引先様への調達基本方針周知	●総取引金額の80%以上を構成するお取引先様各社に対して説明を実施 ●全ての製造委託先に対して説明を実施 ●調達部門の管理職を対象とした下請法勉強会実施	○	
	コンプライアンス教育が最低年1回行われている	年1回のコンプライアンス教育ができている	全従業員を対象としたCSR勉強会の中でコンプライアンスに関する教育を実施	○	P11

CSR 指針	2020年度	2017年度			
	目標	目標	実績	評価	関連
組織統治 (内部統制)	BCMSの推進	BCMS中期計画策定	BCMS中期計画完成	○	P15
		訓練の100%実施	●安否確認訓練は実施完了 ●災害対策本部訓練は期中に実施できず	×	
	事業運営リスクの低減	情報セキュリティ体制の強化	●ウィルス対策実施 ●メール誤送信対策実施 ●web閲覧監視体制整備	○	
		内部統制システム構築検討	着手できず	×	
環境方針の実践	業務効率化により温室効果ガス・資源・廃棄物・コストの削減になっている	(廃棄物の削減) リサイクル率97%以上	リサイクル率99%	○	P8 P16 P17
	●廃棄物の削減 リサイクル率99%以上 ●温室効果ガス排出量の削減 オフィス部門:2010年比46%削減 工場部門:2010年比12%削減	(温室効果ガス排出量の削減) オフィス部門:2010年比43%削減	2010年比45%削減	○	
		(温室効果ガス排出量の削減) 工場部門:2010年比9%削減	2010年比6%削減	×	
	環境負荷低減製品の新規採用件数16件以上	環境負荷低減製品の新規採用件数10件	環境負荷低減製品の新規採用件数20件以上達成	○	
	全商品の売り上げに占める環境負荷低減製品の割合が7%以上になっている(包材のみ)	全商品の売り上げに占める環境負荷低減製品の割合が4%以上	5.5%で達成	○	
	eco検定合格者(10名以上/年)	eco検定合格者(10名以上/年)	12名合格	○	
	内部監査員、部門長経験者を30%以上にする	内部監査員、部門長経験者を28%以上にする	28%で達成(106名/378名)	○	
地域社会への貢献	CSR報告書を発行し、ステークホルダーに説明できている	環境・社会報告書について、ステークホルダーの評価を確認する	●営業・調達担当者向けに環境社会報告書をステークホルダーに説明するための勉強会を実施 ●環境社会報告書はアンケートを添付し説明活動を展開している(29通回答あり)	○	P18
	生物多様性に配慮した活動の推進ができている	関西以外で生物多様性に配慮した活動の準備ができている	●栃木工場での活動内容を決定 ●東京での検討も始めている	○	
	カナエの森をより活用した周辺地域への貢献ができている	岸和田市と連携し、カナエの森を活用した社会貢献策の検討	岸和田市主催の植樹イベント2件に参加	○	



社員が家族に誇れる職場づくり

【社員の生活を包む】

あらゆるハラスメントを排除するとともに、誰もが働きやすい環境づくりと、教育体制を推進します。

ハラスメント防止に関する方針の制定

2017年1月1日の男女雇用機会均等法の法改正に合わせ、「妊娠・出産、育児・介護休業等に関するハラスメントの防止に関する方針」を制定しました。これまでも育児休業の取得から職場復帰への取組みを続けていますが、社員の多様性を認めることの重要性と、出産や育児を社内全体で応援していく姿勢を改めて示しました。既に制定済みの「セクシュアルハラスメントの防止に関する方針」と合わせ、これからもあらゆるハラスメントの撲滅に向けた活動を積極的に取り組んでまいります。

eラーニングによる教育実施

2016年度より、eラーニングによる教育を行っています。2016年度は当社の全管理職、2017年度は係長級を対象としました。eラーニングはハラスメントに関する内容だけでなく、コンプライアンスやメンタルヘルスなどを含む10講座を必須とし、それ以外については社員それぞれの自己啓発として興味のあるテーマを学習できる環境を提供しています。2018年度は主任級を対象としたeラーニングが開講されています。

CSR勉強会

毎年全従業員を対象としたCSR勉強会を開催しています。2017年度は、「当社のCSR活動について」と「ハラスメントについて」をテーマとし、経営企画室と総務部が共同で行いました。CSRの意義や必要性の周知には時間がかかるため、このような勉強会を定期的に行うことにより、少しずつ従業員の理解が進み、社員一人ひとりが主役となるCSR活動に繋がることを目指しています。

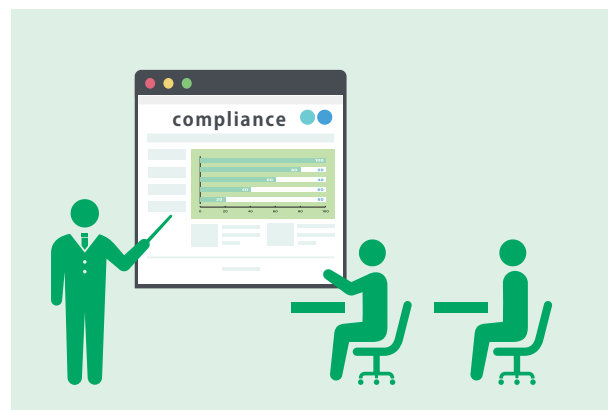
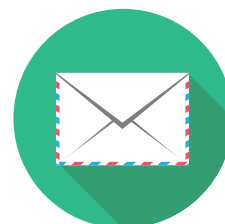
女性活躍の推進

女性が十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備するため、2016年4月から2019年3月にかけて「女性活躍推進計画」を進行中です。2017年度は「妊娠・出産、育児・介護休業等に関するハラスメントの防止に関する方針」の策定と、育児休業規程の改訂を行い、子が2歳になるまで育児休業が延長できるような制度整備を行いました。

今後は単に「長く仕事を続けられる」「育休が取りやすい」だ

ハラスメント専用窓口の充実

これまでも社内及び社外に内部通報用の窓口を設置していましたが、ハラスメントの多様性や、人間関係の複雑化が進む中、当社としてもきめ細かく対応していかなければならないと考え、従業員がより相談しやすい環境をつくる為、今般新たに相談専用の社内メールアドレスを新たに開設しました。



CSR勉強会の様子

けでなく、キャリアアップ志向のある女性社員のモチベーションがさらに上がるような取組みを推進してまいります。

2017年度末係長級の役職者に占める女性の割合

係長級に該当する女性の人数	(A)	19名
係長級に該当する人数	(B)	83名
係長級の役職者に占める女性の割合	(A/B)	22.8%



安全衛生、ワークライフバランス

【職場を包む】

社員だけでなく、
家族も安心できる職場風土の醸成に努めます。

ウォーキングキャンペーンの実施

社員の健康増進策の1つとして、「ウォーキングキャンペーン」を実施しました。対象は当社で働く全ての従業員とし、半年の期間中1日の平均歩数を1万歩とするものでした。当社では初の試みとなりましたが、82名が参加し31名が目標を達成することができました。

業務災害ゼロ日数継続への取組み

栃木工場、神戸工場、本社では安全衛生委員会が中心となり、業務災害ゼロ日数継続への取組みを推進しています。業務災害は当事者だけでなくその家族やお客様をも巻き込んでしまうもので、起こしてはならないものです。各事業所では計画的な巡視や教育などを通して、業務災害が発生しない職

社員会活動

当社では社員会を設置し、会社との諸問題の協議や、社員間の親睦を深めるためのイベント開催などを行い、会社と社員の橋渡しの役割を担っています。

CSR活動を展開する上で、社員視点での検討を欠かすことはできない上、働き方に関する考え方も多様となっており、それらを取りまとめる社員会の役割は大きなものになっています。

2017年度主な親睦イベント

事業所名	イベント
本社、流通センター	テーマパーク観光(※1)
東京支店	東京観光
名古屋営業所、富山営業所(社員のみ)	金沢方面観光(※2)
栃木工場	山梨方面観光
神戸工場	テーマパーク観光(※1)
愛媛第一工場	テーマパーク観光(※1)

※1…本社、流通センター、神戸工場、愛媛第一工場合同で実施

※2…名古屋営業所、富山営業所合同で実施

交通事故撲滅に向けて

2017年度より新卒の新入社員教育の一環として外部講師による安全運転講習会を導入しました。若年層の自動車離れは当社も例外ではなく、営業活動のために社用車を運転する前に改めて安全運転について学ぶことは意義深いことであると考えており、今後も継続的な取組みとしてまいります。また、他の従業員に対しても定期的に交通安全講習会を開催し、社内全体で交通事故撲滅に向けた意識の向上を図ってまいります。

新入社員のための
安全運転講習会
2017.4.26

場環境が維持できるよう努力しています。

また、本社安全衛生委員会では、本社の安全衛生に関する内容だけでなく、安全衛生委員会を設置していない事業所についても必要な検討を行い、全社的な取組みとしています。

また親睦を深めるためのイベントでは、家族も参加できるプログラムも用意し、カナエで働く全ての人たちとの親睦を図れることを目指しています。



テーマパーク観光の様子

<クラブ活動>

社員会には野球、テニス、釣り、フットサル(本社、東京支店、神戸工場、栃木工場)、マラソン(本社・神戸工場合同、東京支店・栃木工場合同)の9つのクラブがあり、余暇を健康的に過ごすとともに、従業員同士の親睦を深める場となっています。



4事業所合同フットサル大会の様子



社員会委員長
松本 大佑

社員会委員長の声

当社をより働き甲斐のある企業にするため、社員会の役割はこれまで以上に大きくなると感じています。現場をどんどん巻き込み、社員会としての「声」を会社に届け、会社とともによりよい職場環境をつくり出していきたいと考えています。

また社員会イベントは、社員同士の懇親だけでなく家族の方々にもカナエを好きになっていただけるような取組みをこれからも続けていきたいと考えています。



安全安心とパッケージによる課題解決

【お客様と消費者を包む】

安全・安心と
使いやすいパッケージを追求します。

品質への取り組み

お客様への「安全・安心」は、その先の消費者や患者の方々
の「安全・安心」につながるものであることを常に意識した取組
みを展開しています。

受託生産に関する品質保証体制はもちろんのこと、包装材
料の販売についても品質保証体制を構築しており、ものづくり
をしていただいているお取引先様と相互に意思疎通を図り、安
全・安心な包装材料の提供に努めています。

包む大賞の実施

当社では、『包装』に関するアイデアの卵を社員より募集し、オリ
ジナル開発商品の促進、社員のパッケージに対する意識向上、社業
の発展につなげることを目的とした「包む大賞」を実施しています。

全ての社員とその家族が感じるパッケージに関する「困りごと」
や「こんなものがあればいいのに」という発想の中に、当社が目
指す市場創造ができる新しいパッケージ開発に繋がるヒントが
あるはずです。包む大賞から世のため人のためとなるパッケージ
が生まれることを目指し、この取組みを継続してまいります。

品質 方針

- ① お客様の視点で考え、当社の技術を結集してお客様の期待を超える品質をお届けする
- ② お客様に提供する商品の安全・安心を保証する
- ③ 常に商品価値向上に向けた提案を行い、お客様とともに高品質商品を創出する
- ④ 品質・技術に裏付けられた迅速な対応によりお客様に感動を感じていただく

お客様満足の向上

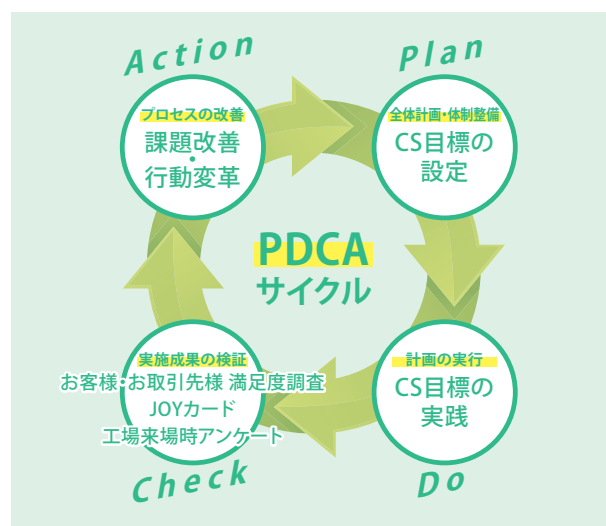
当社では、質の高いサービスの提供と新商品の開発力を武
器に、「お客様に喜びと感動を感じていただける会社になる」
をコーポレートメッセージとするCS活動を展開しています。CS
活動では以下の3点を重点的に取り組んでいます。これから
も「困った時のカナエ」と多くのお客様に頼っていただけるよう努
力を続けてまいります。

1. “お待たせしない対応”の実践
お客様での「待ち時間」「手戻り」を削減し、
お客様の業務効率化に貢献すること。
2. “プロの仕事”の価値提供
包装に関わるプロとしての価値を提供すること。
3. “CSマインド”の実践
お客様の立場に立って自ら考え・行動すること。

JOYカード

お客様からの喜びの声を「JOYカード」として社内共有する
活動を始め、10年が経過しました。「JOYカード」はCS活動の実
践度を測るバロメーターであると同時に、お客様の「JOY」に携
わった社員が自身の成功体験を実感する場となっており、個々
のモチベーションアップに繋がっています。2017年度は1,200
件を超える「JOYカード」が寄せられました。

「JOYカード」の共有は社内だけに留まらず、「JOYカード」に繋がる
ご協力をいただいたお取引先様へも共有させていただいています。
これからもお客様の感動レベルが上がる活動を展開し、多く
の「JOYカード」が生まれるよう努力してまいります。



CS活動 進捗状況 JOYカードのご紹介

7月度分 (6/21~7/20)



コンプライアンス、公正な商取引

【ビジネスを包む】

高い倫理観を持ち、
社会から必要とされる人財を育てられる企業を目指します。

調達基本方針の制定

当社では適正な購買活動を推進するため、2017年10月21日に調達基本方針を制定しました。

2017年度は購買業務担当者に対する教育を行い、お取引先

様に対し本方針の説明活動を行ってまいりました。これからもお取引先様との適正な関係構築に取り組んでまいります。

調達基本方針

2017年10月21日

基本方針

私達はカナエCSR方針、CSR指針に基づき、以下のとおり調達活動を展開していきます。

株式会社カナエ
代表取締役社長 田中勝人

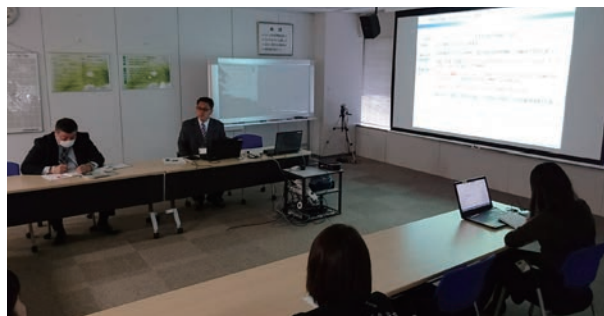
1. コンプライアンス
(労働慣行) 各種関連法令を遵守し、社会的な要請に応えるため、人権・労働安全衛生に十分配慮した活動を行います。
(機密保持) 業務上知り得た情報は、情報提供いただいた方の承諾を取らずに第三者へ漏らすことはありません。
2. 公正な取引
(公平・公正) 新たに取引を希望される取引先に対しては、品質・納期・価格・技術・経営の安定性・企業の社会的責任(CSR)の取組み等を総合的かつ公正に評価し、その国籍・地域・企業規模等にとらわれることなく真摯な姿勢で対応します。
また、既存取引先に対しても同様の評価を行います。
(購買倫理) 取引先と私的な利害関係は持ちません。また、発注者の地位を利用した不当な圧力を用いることはありません。
3. 取引先との共存共栄
取引先をパートナーと位置付け、適正な品質・納期・価格を確保し安定的な取引を実現する事を通じ、WIN・WINの関係を目指します。
4. 環境
環境に配慮した購買活動を行います。
5. サプライチェーン管理
全ての購買先に対し、本方針に基づく取組みを啓発していきます。

以上

お取引先様満足度調査の実施

2017年度は2年に1度行っているお取引先様へ当社に対する満足度調査を実施しました。

頂いたご意見は真摯に受け止め、お褒めいただいた点はさらに向上するように、お叱りをいただいた点は即見直しができるよう、経営層をはじめ各部門へのフィードバックを行っていきます。次回調査の際には、今回以上の満足度をお取引先様各社に感じていただけるよう、全社一丸となり改善に取り組んでまいります。



お取引先様満足度調査フィードバックの様子

下請法勉強会

当社では日頃より下請法遵守の啓発を行っています。2016年12月14日の「下請代金支払遅延等防止法に関する運用基準」の改正に基づき、お取引先様との関係が深い購買部門、製造委託部門の管理職を対象とした下請法勉強会を実施しました。



下請法勉強会の様子



購買部長
北野 博千

調達基本方針の推進について

ステークホルダーからの要求事項への対応は当社の取組みだけでなく、お取引先様にご協力いただいで初めて完結することができます。そのため、「お取引先様へのお願い」を調達基本方針と併せて説明活動を行いました。今後も上記方針に従い、「新しいパッケージで市場創造型企業No.1」を目指し、お客様に安全で安心な商品・サービスを提供するために、お取引先様との強固な信頼関係と長期的な協力関係を構築してまいります。



組織統治（内部統制）

【会社を包む】

内部統制を強化するとともに、
いかなる状態でも事業継続ができる体制構築を推進します。

事業継続への取組み

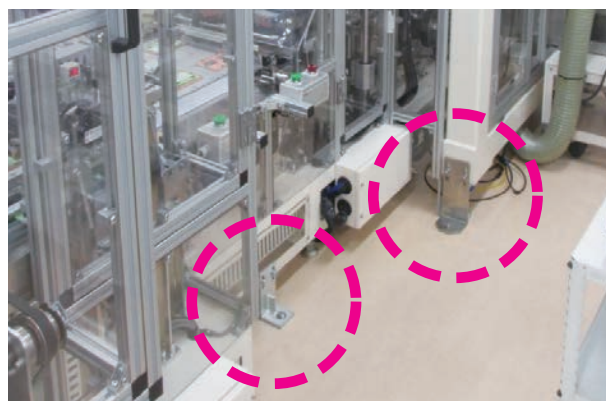
2011年3月の東日本大震災を契機にBCPの構築を進め、
2015年よりBCMSの推進へと移行しています。

当社のBCPは巨大地震や新型インフルエンザパンデミック
に備え、安否確認システムの導入、被害軽減策の実行、安定供

給に向けた社内体制の整備、食料等の生活物資の備蓄などを
進めています。また定期的な訓練を実施し、これまで検討して
きた社内手順等についての実行性の確認を行っています。



試験機器の落下防止（栃木工場）



包装機器の転倒防止（神戸工場）

情報セキュリティの強化

当社では2016年に「情報セキュリティポリシー」の全面的な
見直しを行いました。

2017年度は情報セキュリティの運用強化を目指し、ウィルス
対策、メール誤送信対策、情報セキュリティ上危険性の高い
webページの閲覧制限等に取り組みました。また、従業員に対す
る継続的な啓発を行い、ウィルス感染等の被害が発生しないよ
う取り組んでいます。

情報資産に対する脅威は日々新しいものが生まれています。
それらの脅威を回避しつつづけるために、ソフト、ハードの両面
からの対策を継続的に展開していきます。

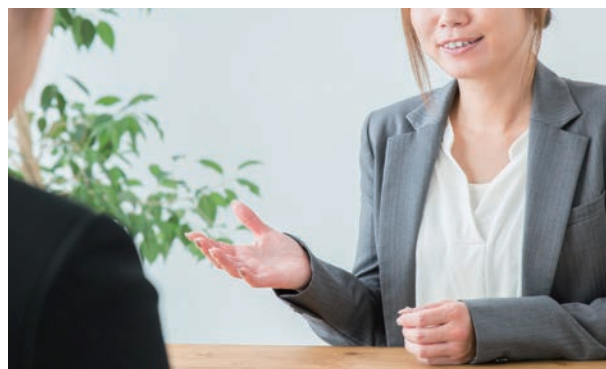


外部相談窓口の設置

当社では2008年より外部相談窓口を設置しています。

相談窓口は、違法行為の予防及び万が一の発生に対する迅
速かつ適切な対応を図ることを目的としたコンプライアンス通
報・相談の他、セクハラ・パワハラ相談や健康相談、メンタルヘ
ルス相談などができます。相談窓口の利用にあたっては、利用
者のプライバシーが守られるよう万全の態勢を整えています。

これからも健全な職場を創り上げる一助となるよう、従業員
の認知度向上に取り組んでまいります。





環境方針の実践

【地球を包む】

ひとや環境にやさしい企業活動を実践します。

環境マネジメントシステム

効果的な環境保全活動を実施するため、当社は2003年から国際規格であるISO14001を導入しています。（愛媛第一工場は2017年度に認証取得）

運用については社内グループウェア導入に伴い、2017年よりISO14001に関する文書管理を電子化し、工数削減や印刷物の削減につなげました。

また、2017年度の外部審査では改訂版ISO14001:2015で審査を受け、2015年版の環境マネジメントシステムに移行しました。

文書管理をドキュメント管理（電子）に変更

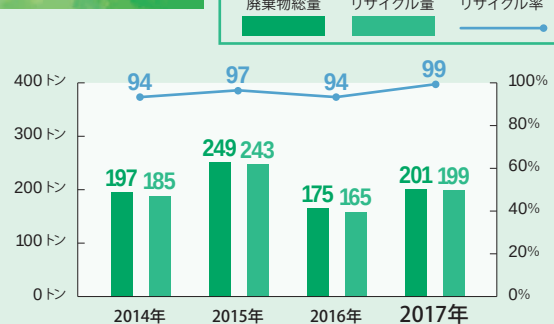


廃棄物の削減

＜リサイクル率の向上＞

持続可能な社会の実現に向けて、当社工場から排出される廃棄物をできる限りリサイクルしています。2017年度はリサイクル技術の高い産業廃棄物処理業者に委託先を変更し、機械廃棄時に分解し部材を分別することで、これまでよりもリサイクル率を高めることができました。その結果、2017年度のリサイクルは99%となりました。引き続きリサイクル率100%を目指し活動してまいります。

リサイクル率



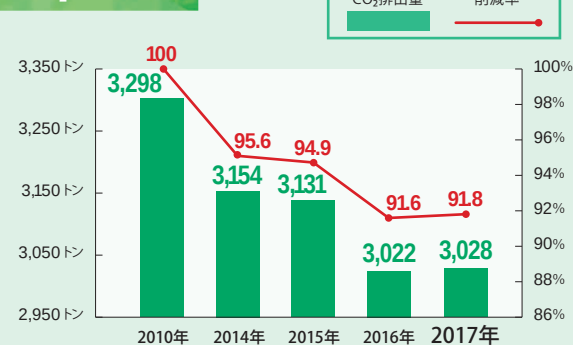
温暖化防止の活動（省エネ）

＜CO₂排出量の削減＞

オフィスや工場で省エネを実施し、地球温暖化の防止に貢献できるよう活動しています。

2017年度は、製造機械のエネルギー効率を向上、パッケージエアコンを省エネタイプに変更、ボイラーの効率的な運用、クールビズの実施などの活動を実施しました。しかしながら、2017年度は工場の生産量が前年より増加したため、エネルギー使用量は微増となりました。

CO₂排出量



環境包装プロジェクト

＜環境負荷低減製品の支援＞

環境に配慮した製品をお客様に提供するため、当社では環境負荷低減製品の開発、販売をしています。その環境負荷低減製品の開発を支援するために設置されたのが「環境包装プロジェクト」です。

活動内容は、環境に配慮した製品のマーケット情報の収集、環境に関するトピックスや情報を「e情報」としてまとめ、毎月報告しています。また、開発した環境負荷低減製品を評価し、適合された製品については当社独自のエコマークをつけてご紹介させていただいております。



e情報



当社独自のエコマーク



環境方針の実践

【地球を包む】

内部監査

当社では環境マネジメントシステムの適合性と有効性を確認するため、年2回全事業所で内部監査を実施しております。

	不適合	改善の機会	提言
2016年	1件	34件	29件
2017年	5件	62件	42件

※2017年度より、愛媛第一工場を内部監査の対象としています。

従来の内部監査では、順守状況のチェックや環境アセスメントを中心に監査していましたが、2017年度は“環境活動の成果”をテーマに監査を実施し、どうすれば成果が出るのか「計画の立て方」や「手順方法」など、運用面での具体的な指摘があり、環境マネジメントシステム全体での大きな改善に繋がりました。監査の視点を広げることで、より多くの指摘がなされました。指摘を真摯に受け止め、より有効なマネジメントシステムとして機能させるよう取り組んでまいります。

業務改革プロジェクトの取り組み

当社では業務改革プロジェクトと称して、全社的な業務効率化に取り組んでまいりました。2017年度までの2年間で多くの業務効率化がすすめられた結果、下記の成果をあげることができました。全社的な業務改革プロジェクトは2017年度に

一つの区切りとなりましたが、この2年間の経験を生かし、引き続き各部門や小集団活動として様々な業務効率化に取り組んでまいります。

業務改革プロジェクトでの主な成果

- 1 受信FAXのペーパーレス化推進**
ファックス受信文書をモニター上で確認後、必要な文書のみ印刷する仕組みを導入した。
(本社、東京支店、富山営業所にて導入完了)
- 2 ワークフロー導入による事務効率化**
紙ベースで行っていた支払いなどの社内手続き処理をワークフロー化し、ペーパーレス化と決裁の効率化を実現した。
- 3 製造委託先様(一部)との情報共有方法の改善**
当社と製造委託先様間の生産計画等の重要な情報について、クラウドを活用した情報共有方法を構築。
双方向での情報共有を実現し、製造委託業務の効率化を実現した。
- 4 商事業務の受発注業務一部見直し**
商材の受注、発注、納期回答等、お客様とお取引先様との調整業務にあたる、業務部及び内勤営業課の重複業務の効率化を進め、お客様、お取引様双方の返答待ち時間を削減した。
- 5 経営管理指標に関する基礎データの統合化**
経営管理指標作成に使用するデータの整理・システム化を行い、経営管理指標を標準化。
資料等作成の効率化を実現した。

環境教育について

<eco検定>

従業員に環境保全の重要性を認知してもらうため、2014年度よりeco検定の受験を推進しています。毎年10名以上の合格を目標に行い、現在46名が合格しています。

eco検定 **合格者** の声

今までecoといえば会社で取組んでいるEMS活動や一般的なeco活動しかイメージできませんでした。eco検定を通して、地球環境の現状について学ぶことができ、なぜ環境保全に取り組まなければならないのかが理解できました。今後は社内外を問わず、環境保全活動に積極的に関わっていこうと思います。



神戸工場製造部
安川 和宏



地域社会への貢献

【社会を包む】

社会と共に成長し、
誰もが喜びと感動を感じていただける企業を目指します。

カナエの森

2014年3月より、大阪府が行っている企業が森づくりに参画するための支援制度である「アドプトフォレスト制度」を活用し、大阪府岸和田市が主催する「フクロウの森 再生プロジェクト」に参画しています。当社ではこの森を「カナエの森」と名付け、本社、神戸工場の社員を対象とし、年間を通して交代で森づくりに取り組んでいます。2018年度からは栃木工場がある栃木県真岡市の「もおか環境パートナーシップ会議」に加入し、「自然ふれあい園 大久保」にて里山林の管理、大久保川のホタルの再生などの保全活動に参画しました。(2017年11月20日に第1回活動を実施)

活動当日は参加する社員はボランティア休暇とし、作業後は参加者全員で昼食をいただいています。本活動は生物多様性への配慮を体感出来るだけでなく、業務を離れ1つの目的のために汗をかくことで社員同士のコミュニケーション促進にも効果をあげています。



カナエの森開始当初(2014年3月)



カナエの森(2017年8月)

みちのく未来基金

～震災遺児に進学の夢を～

「みちのく未来基金」は東日本大震災によりご両親もしくは片親を亡くした子ども達の支援として、サポートの少ない「大学及び専門教育への進学」に焦点をあて、東北の地、ひいては日本の復興を支えていく人材を育成することを目的として設立されました。現在では75社の企業・団体が支援しています。当社の支援は7年目に入り2017年9月末時点で計638名の方々が進学されました。

環境・社会報告書2016を用いた外部コミュニケーション活動

ステークホルダーに、安心してお付き合いしていただける会社であることを理解していただくと同時に、少しでも「カナエという会社」に興味をもっていただくために、お客様やお取引先様などのステークホルダーへ、環境社会報告書の説明活動を展開しました。このためステークホルダーとの関わりが多い担当者を対象とした『「環境・社会報告書2016」の説明ポイントについて』の勉強会を開催しました。

勉強会は説明ポイントだけでなく、当社が環境・社会報告書を作成している意義について当社担当者が再認識できる内容としています。



環境・社会報告書2016

地域とともに

当社が各地で事業展開していくことができるのも、地域の理解があつてのことです。

地域とのつながりを大切にするために、栃木工場では近隣の子ども達の防犯対策として「こども110番の家」に登録しています。

また、神戸工場では神戸市が推進する「まちかど救急ステーション」に登録をしています。「まちかど救急ステーション」とは、まちなかで心臓が停止してしまった方が発生した場合に、すぐ近くにある「まちかど救急ステーション」のAED(自動体外式除細動器)による除細動(電気ショック)を行い、一人でも多くの命を救える体制を推進するものです。当社では神戸工場以外にも、本社、東京支店、栃木工場、愛媛第一工場にAEDを設置しており、社内にて「応急手当講習会」を開催し、応急手当の普及に取り組んでいます。



本社応急手当講習会の様子





お問い合わせ先

株式会社カナエ 経営企画室

〒540-6023 大阪市中央区城見1丁目2番27号クリスタルタワー23階
TEL 06-6945-1140 FAX 06-6945-1211

